

モバイル・I.Tを

きちんとして運用できる

「脳力」はあるか？

経営コンサルタント ショーン・Kさん

J-WAVEナビゲーター、経営コンサルタントとして日々飛び回るショーン・Kさん。強い感性と独自の視点からつむいだされたI.Tとモバイル論を聞いた。



ショーン・マクアードル川上氏
ブライソン・マクアードル・インフォアティヴ・リサーチ代表取締役、マネンク・パートナー。東洋大学で金融、経済、ITなどを、幅広い業界で経営・投資・コンサルティングを行う。J-WAVEのナビゲーターとしても活躍。ニュー・ロープ編集。

アンテナの感度を上げるためにも モバイルは大きな役割を果たす

モバイルでタイムリーな
コミュニケーションを

J-WAVEの人気ビジネス番組「大和証券Market 21」でナビゲーターを務めるショーン・Kさん。しかし、本来の姿は、ニューヨークを拠点に世界六カ国にブランチを持つ経営投資コンサルティング会社を経営する国際投資シネスマンだ。日本国内はもとより、世界で常にコンタクトを取るためにも、モバイルツールの欠かさないものようだ。

「クライアントと会ってお話をするもので、オフィスにいる機会は少ない。だからモバイルツールは欠かせません。特にリモートメールとモバイルノートは重要しています。スタッフと共有するスケジュールや重要事項、さらにイベント情報や自社セミナーにアップされているので、必要なときにいつでもアクセスできます。普段はPDAにデータをダウンロードし活用しています。どちらもタイムリーにコミュニケーションを取るためには最適であり、欠かさないものですね」

「脳力」の活用が ワークスタイルを変えるカギに

モバイルツールをカジェットするまで道は、のままで終わらせるか否かは、運用できるかどうかだと語る。

「どう使うかではなく、まず「何をしたいか」が重要。そこをはっきりさせた上で、適切なアプリケーションやインフラを遊ぶのが次のステップです。いつでもどこでも誰でも情報を活用できるユビキタス化が進めば、例えば企業の営業支援システム(SFA)や顧客支援システム(CRM)などが大活躍するはず。ただ、実際に活用して実績を出している企

業は少ない。「流行しているらしいから、使ってみよう」という発想ではなかなか機能しないのである。

現在はこうしたソリューションを検証して、I.Tを最適化する時代になりつつあると述べています。これは個人でも同じで、自分にとって何が必要で、どうすれば最適化できるかを意識することが必要。私もいろいろなものを試した結果、手軽さと簡単にデータが同期化できるという点でPDAという二つのモバイルに行きつきました。

今後、電知や水道のようにI.Tのユティリティ化が進むと、そこからただの価値を生めるかは、ユティリティ化。I.Tの最適化はユティリティ化の段階で、そしてI.Tは手段でしかありません。何を目的に、どの手段をどう取り入れ、どう結果に結びつけるか、その投資効果は？そこに必要なのはより高度なCPU（中央演算処理装置）ではなく、むしろユティリティ側の実用性だと思っています。

マクロ、ミクロ、フローの視点 3つの目を持つことが大切

では、モバイルはワークスタイルをどう変えていくのだろうか。「人間の作業には、マニュアルワークといわれる標準化できる「労働」の部分と、頭を使うレパラルワーク、「脳力」の部分に分けられますが、モバイルやI.Tで置き換えられるのはマニュアルワークの部分。それにより業務効率が上がるので、新たな時間が生まれます。実はこちらの方が重要で、仮にテクノロジーや情報均等になったときに、「君の付加価値は何なのか」が問われます。つまり、I.Tを使いこなすことで、新たに生まれた時間を付加価値に変える人間側のCPU、「脳力」がますます重要になってくるはず。例えば、情報へのアクセス方法さえ知っていれば、どこからでもいくらでも情報は取り出すことができます。ですから、自ら情報を見極め、取捨選択し、付加価値を生み出す「脳力」が必要になってきます。では、その「脳力」を鍛えるためにはどうすればいいのか。

「魚の目」魚の目を持つことではないでしょうか。目先の現実や技術、組織、利害にとらわれず、大局を捉え、目的を追求しようとする「魚の目」、しかも精緻で細やかな「虫の目」、そして世の中の流れやトレンドを敏感に感じ取り環境に適応する「魚の目」。この三つのマクロ、ミクロ、フローの視点のバランスを持ち、プロセスを科学する「脳力」、そして結果、付加価値を生み出す「動力」が必要とされている。一丁が進化すればするほど、楽になるのではなく、ますます人間側のスキルが試されてくるはず。モバイルはそのプロセスの中で大きな役割を果たすことになるでしょうね」

MB3



Special Topic

モバイルが ワークスタイルを 変える

ブロードバンド、モバイルをフル活用し、個人レベルのモバイルソリューションを構築する方法とは？

モバイルを運用する
“脳力”が問われる
～ショーン・Kさん

ワークスタイル変革
“自分流”実践方法

ビジネスに役立つ
第三世代携帯電話の活用術



ナビゲーターを務める「大和証券Market IT 21」J-WAVE-毎週土曜日(午後10時-)は、毎週ビジネスのモチベーションを上げる大事なお知らせを伝えてくれる。



ノートパソコン、PDA、携帯電話、USBメモリー、いつも持ち歩くモバイルツールの数々。ファクスはすべてパソコンで実施しているので、あからでもファクスを見ることが出来る。